

TJUP主催「大学・短期大学教職員のFD・SD研修プログラム」
実施報告書

日 時	2025年11月13日(木) 15:00～16:00
担 当 校	東京電機大学
講 座 名	「私学らしい教育の展開(質保証、可視化、学生参加を中心に)」
講 師	東京電機大学 広石英記 氏 (副学長・教養教育センター長・教育開発推進室長・人文社会系教授)
実施方法・場所	オンライン
参加人数	74 名
概 要	定員割れが常態化している今日、各大学は生き残りをかけて、各校の個性を今まで以上に社会にアピールする必要がある。しかし、それが高等教育の流行り(生成AIの活用、文理融合教育)や、教育行政の求める施策の後追いでは、私学の個性を鮮明化することは困難である。私大の教育の軸は、あくまで「建学の精神」であり、それをわかりやすく表明しているポリシーである。今回は、各校の取組の参考までに教育研究理念を軸に構想した東京電機大学の教育施策の具体を紹介する。
アンケート結果 (アンケート 回答数54)	【参加校】オブザーバー校を含め全会員校15校から74名参加(アンケート回答数54件) 【職種区分】職員92.6% 教員7.4% 【受講者年代】50歳代が31.5%で最多、次いで40歳代の22.2%と続き、20歳代は7.4%で最小 【受講者の満足度】75.9%が「満足」、20.4%が「やや満足」で全体の96.3%を占める 【主な感想】 ・「目指すべき理念を共有し、それを具現化する個性的教育を展開して、はじめて私学教育は輝く」というお言葉は、生き残りをかけた私立大学に勤める職員として、今後も常に意識し続ける必要があると感じました。 ・あらゆる講義に大学のポリシーを盛り込む、その本気度がトップに必要なのだと感じました。 ・建学の精神を重視して、痛みを伴う改革を先頭に立って進めている広石副学長の経験に基づいた講演は説得力があった。 ・学修者本位の教育体制につついて、学生を巻き込んでいく取組が勉強になった。教育改革に取り組まれている実態を伺える機会は貴重なFDだ。 ・建学の精神と教育理念の埋め込みは、とても参考になりました。私学のカラー・個性を出すための例も参考になりました。科学技術を題材にした「英語教育」参考になりました。